検査証	当製品は弊社の厳重なる検査に合格したことを証します。	品管	検　査

●長年ご使用のストロボ機器の点検をぜひ！

愛情点検	こんな症状はありませんか		
	●スイッチを入れても所定の時間で充電しない ●通電中に異音、異臭、あるいは発煙する ●ヒューズがすぐ切れる ●ストロボ電源部やヘッドに触るとピリピリと電気を感じる ●その他の異常や故障があるとき	▶	このような症状のときは直ちに使用を中止し、ACプラグをコンセントから抜いて、当社営業所または販売店にご相談ください。

●ストロボ電源部、ヘッドは内部に高電圧を蓄える機器です。誤った操作、または異常を無視して使用すると、使用する人々への危害、または物的損害を与えることが予測されます。
取扱い説明書の操作方法に従い、「警告」「注意」などを守って安全にお使いください。

●上記のような症状がなくても1年に1～2回は点検を受けられるようおすすめします。

アフターサービスについてのご相談は

COMET®　コメット株式会社

本社	〒174-0063 東京都板橋区前野町3-47-1	TEL.(03)5916-5786	FAX.(03)5916-5872
コマーシャル部	〒174-0063 東京都板橋区前野町3-47-1	TEL.(03)5916-5789	FAX.(03)5916-5876
仙台営業所	〒981-8003 仙台市泉区南光台4-29-25	TEL.(022)727-6521	FAX.(022)727-6523
東京営業所	〒174-0063 東京都板橋区前野町3-47-1	TEL.(03)5916-5788	FAX.(03)5916-5875
東京営業所 ストロボクリニック課	〒174-0063 東京都板橋区前野町3-47-1	TEL.(03)5916-5794	FAX.(03)5916-5878
名古屋営業所	〒464-0075 名古屋市千種区内山3-1-1	TEL.(052)735-9077	FAX.(052)735-9088
名古屋営業所 ストロボクリニック課	〒464-0075 名古屋市千種区内山3-1-1	TEL.(052)735-9077	FAX.(052)735-9088
大阪営業所	〒550-0015 大阪市西区南堀江2-9-22	TEL.(06)6536-0671	FAX.(06)6536-4020
大阪営業所 ストロボクリニック課	〒550-0015 大阪市西区南堀江2-9-22	TEL.(06)6536-0671	FAX.(06)6536-4020
福岡営業所	〒812-0008 福岡市博多区東光2-8-17	TEL.(092)411-1202	FAX.(092)411-1209
福岡営業所 ストロボクリニック課	〒812-0008 福岡市博多区東光2-8-17	TEL.(092)411-1202	FAX.(092)411-1209
海外事業部	〒174-0063 東京都板橋区前野町3-47-1	TEL.(03)5916-5786	FAX.(03)5916-5872

URL　http://www.comet-net.co.jp　　E-mail　mail@comet-net.co.jp

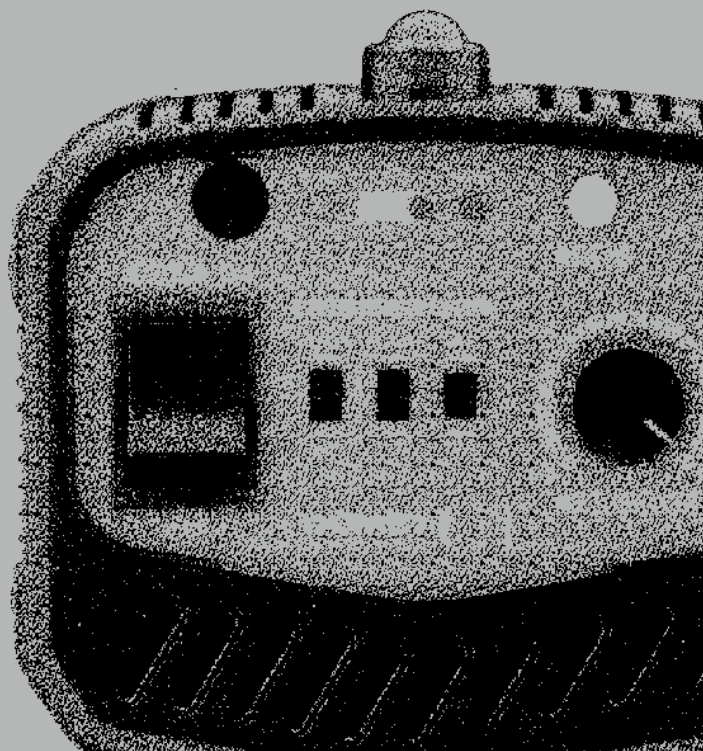
1107-0020A-1

COMET

CT-02wⅡ
CT-04wⅡ
CT-06wⅡ

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。



はじめに

このたびは、コメットCT-WⅡモノブロックストロボをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本機は、国内や海外での撮影に対応するワールドボルテージ仕様です。
また、近年のデジタル撮影に対応すべく、小光量域の調光範囲をさらに広げ、FULLから1/32（5絞り）までをカバーしました。
すべてのCT-WⅡにCA雲台を採用、堅牢性と機動性を追求しました。
なお、ご使用になる前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、注意事項や使用方法を十分にご理解いただいたうえでご活用ください。

付属品

- ACコード　5m　1本
- シンクロコード（ホーンジャックタイプ）　5m　1本
- ヒューズ　各機種1本
- 取扱説明書　● 保証書　● ご愛用者登録カード
- 六角レンチ（M8用）1本

目次

1. 安全のため特にご注意ください …… 1～4
2. 使用上のご注意とお願い …… 5
3. 各部の名称とはたらき …… 6～7
4. 操作手順 …… 8～9
5. 出力バリエーター …… 10
6. モデリングランプモード …… 10～11
7. サウンドモード …… 11
8. フォトセル …… 12
9. 不発光警報 …… 12
10. 充電異常警報 …… 13
11. 過熱警報 …… 13
12. モデリングランプの交換 …… 14
13. ヒューズの交換とヒューズ定格 …… 14～15
14. ガラスグローブの着脱 …… 16
15. 保証とアフターサービス …… 17
16. 仕様 …… 18～19

1 安全のため特にご注意ください

■ご使用の前に、この説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。

■ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、この機器を使う人への危害、または物的損害を未然に防止するための注意です。

■注意事項は危害や損害の大きさと切迫の度合いを明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「危険」「警告」「注意」の3つに区分しています。

いずれも機器を安全にお使いいただくために重要な内容ですので、必ず守ってください。

危険：人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。

警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

絵表示の意味

△記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な禁止内容（左図は感電注意）を示しています。

⃠記号は、禁止行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図は分解禁止）を示しています。

●記号は、具体的な指示内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図はプラグをコンセントから抜いてください）を示しています。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警　告

■修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないでください。

電源部には、メインスイッチを切りACコードをコンセントから抜いた後も、内部に長時間高電圧が残っており、感電の恐れがあります。

■水に濡れる場所や湿度の高い場所での使用、また手足が濡れた状態、素足での操作はしないでください。

漏電による感電の恐れがあります。

■モデリングランプの交換や清掃など、キセノンランプ部に触れるときは、ランプの電極部には絶対手を触れないでください。

メインスイッチを切りACコードをコンセントから抜いた後も内部には長時間高電圧が残っており感電の恐れがあります。特に清掃を行うときは、一日以上使用していないときに限って行ってください。

■本体スリット部には金属などの異物を絶対入れないでください。

感電、ショートによる発火の恐れがあります。

■ストロボは発光時、高温の熱を発します。人体に向けて近い位置で発光させたり、可燃物に向けての使用は絶対にしないでください。

火傷や火災の恐れがあります。

■揮発性のガソリン、シンナー、可燃性ガスなどを使用している場所や、大量の粉塵が舞っている室内などでは絶対に使用しないでください。

爆発、火災、火傷の恐れがあります。

■使用電圧はAC100V-120V（50/60Hz）およびAC200V-240V(50/60Hz）です。

異なる電圧で使用すると、発火、火災の原因となります。

■ACコードプラグを着脱する時は必ずメインスイッチ、モデリングモードスイッチを切ってください。

急激に大電流が流れ、ショートによる火傷、発火の恐れがあります。

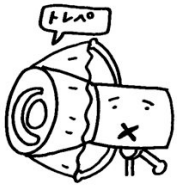
注　意

■使用中や使用直後はガラスグローブ、キセノンランプとモデリングランプはかなりの高温になります。十分に温度が下がってから取り扱ってください。

火傷の恐れがあります。

■ヘッド使用中は、紙や布または樹脂系のシートなど可燃物を近づけたり、覆っての使用はしないでください。

使用中はかなりの高温となり発火、火災の恐れがあります。



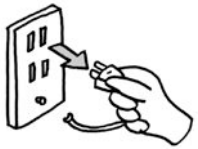
■ヒューズやモデリングランプは指定の定格品を使用してください。

定格品以外の使用は発火、火災の原因となります。

■落としたり衝撃が加わったときは、直ちに使用を中止し、弊社、またはご購入店で点検を受けてください。

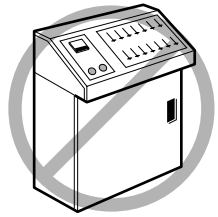
外観的な変形がなくても内部の電子部品などの損傷で、感電や漏電の恐れがあります。
コードの被覆損傷のときも同様に点検を受けてください。

■使用後は安全のために必ずACコードをコンセントから抜き取ってください。



2 使用上の注意とお願い

■調光器に接続しての使用はしないでください。本機および調光器を破損する恐れがあります。



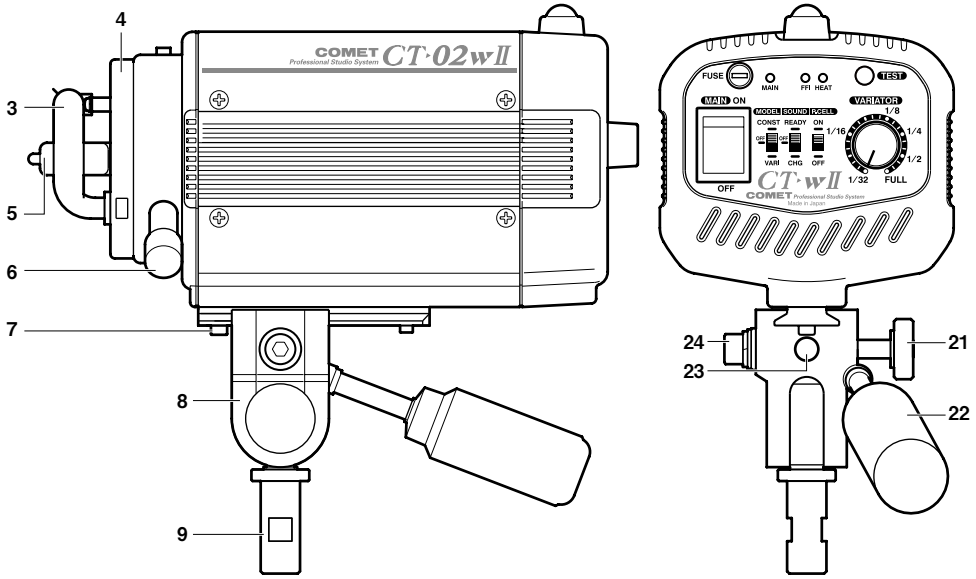
■ストロボ電源部は使用しないときでも1カ月に1～2度は必ず出力をFULLにして通電をしてください。特に3カ月以上の長期にわたって使用しなかったときは、出力をFULLにして最低4時間通電をしてください。この間は絶対に発光させないでください。長期間使用にならなかったストロボ電源部は、そのまま発光をくり返すとコンデンサーが発熱して破損することがあります。

■過酷な使用で万一過熱警報がはたらいたときは過熱警報ランプ（HEAT）が点滅し、ブザーで知らせます。このときはメインスイッチ(MAIN) をいったん「OFF」にし、モデリングモードスイッチ(MODEL) を「OFF」にしてから再びメインスイッチ(MAIN) を「ON」にして、内部の温度が下がるまで使用を中止してください。

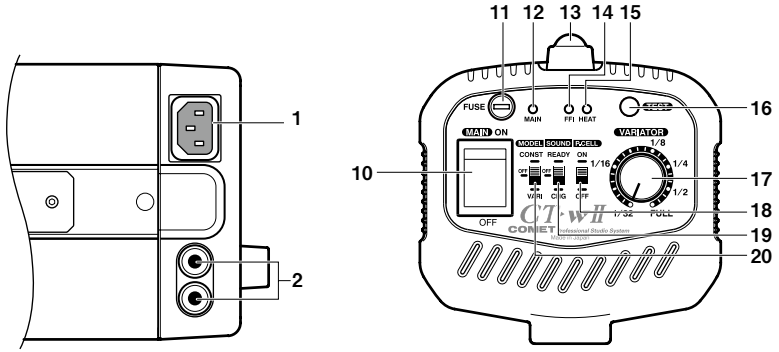
■赤外シンクロ装置(当社製) の受信器は、室内の蛍光灯から離れた場所にセットしてください。蛍光管から出る赤外線により、誤動作を起こすことがあります。

■複数台のストロボ電源部を赤外シンクロ装置（当社製）で使用するときは、それぞれのストロボ電源部に受信器をセットしてください。このときはすべてのストロボ電源部のフォトセルスイッチを必ず「OFF」にしてください。赤外シンクロ受信器を使用していてもフォトセルスイッチが「ON」のときは、同調発光しない電源部が出ることがあります。

3 各部の名称とはたらき



底面部



	名称	はたらき	参照頁
1	ACコネクター	付属のACコードで本機をコンセントに接続してください。 使用後は必ずコンセントからACプラグを抜いてください。	8頁
2	シンクロソケット	ホーンジャックタイプのシンクロコード（付属品）でカメラと接続します。	9頁
3	キセノンランプ	ストロボの放電管です。使用中、直後はかなりの高温になります。 絶対に手を触れないでください。	16頁
4	ガラスグローブ取付金具	シンクロンガラスグローブ（別売）を取り付けます。	16頁
5	モデリングランプ	最大200Wのハロゲンランプ（別売）が使用できます。	14頁
6	リフレクター固定ネジ	CXタイプリフレクターをセットして左右2ヶ所のネジで固定します。	
7	雲台取付レール	専用の雲台を取り付けます。	
8	雲台	本体を支える部分で、パン棒により角度を調節して固定します。	
9	ダボ	スタンドやパンタグラフなどに入れて本機を固定します。	
10	メインスイッチ（MAIN）	AC電源スイッチです。使用後は必ず「OFF」にし、ACコードプラグをコンセントから抜き取ってください。	8頁
11	ヒューズ	電源部を保護します。ヒューズ定格をお守りください。	14･15頁
12	ACパイロットランプ（MAIN）	メインスイッチを「ON」にすると点灯して通電状態を知らせます。	8 頁
13	フォトセル／充電完了ランプ	他のストロボ光を受けて同調発光させるための受光部と充電完了ランプを兼ねています。	8･11頁
14	不発光警報ランプ（FFI）	不発光が生じたとき、ランプの点滅とブザーで知らせます。	12頁
15	過熱警報ランプ（HEAT）	内部の電子部品が所定の温度を越えたとき、ランプの点滅とブザーで知らせます。	13頁
16	テスト発光スイッチ（TEST）	充電完了後、軽く押すと発光します。	9頁
17	出力バリエーター（VARIATOR）	出力を FULL から 1/8 までを 1/3EV ステップ、1/8 から 1/32 までを 1/6EV ステップで調光します。	10頁
18	フォトセルスイッチ（P･CELL）	他のストロボ光を受けて同調発光させるとき「ON」にします。	12頁
19	サウンドモードスイッチ（SOUND）	「充電完了（READY）」「充電中（CHG）」「OFF」を切り換えます。	11頁
20	モデリングモードスイッチ（MODEL）	モデリングランプを「100% 点灯（CONST）」または「調光（VARI）」「OFF」を切り換えます。	9･10頁
21	アンブレラ固定ネジ	アンブレラ軸を締め付け、固定します。	
22	パン棒	雲台を操作するハンドルです。本体を動かすときに使用します。	
23	アンブレラ取付穴	アンブレラ使用時はこの穴にアンブレラ軸を通します。	
24	雲台固定ネジ	雲台位置を調整するときに付属の六角レンチでゆるめます。 調整後は締め付けてください。	

4 操作手順

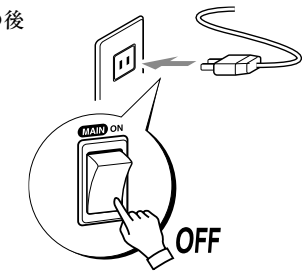
■ 1.サウンドモードを選択してください。

充電状態を知らせるサウンド(SOUND)が必要なときは、充電中音(CHG)、充電完了音(READY)のいずれかにセットします。

●警報音は、サウンドモードに関係なく鳴ります。

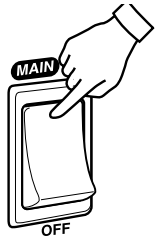
■ 2. ACコードを接続してください。

メインスイッチ(MAIN)が「OFF」になっていることを確かめてから、ACコードを本体のACコネクターへ十分差し込んでください。その後ACプラグをコンセントへ差し込みます。



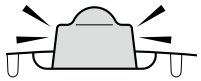
■ 3. メインスイッチを「ON」にしてください。

メインスイッチ(MAIN)を「ON」にします。ACパイロットランプが点灯し、充電が始まります。



■ 4. 充電の完了。

充電が完了すると本体上部のフォトセル/充電完了ランプが点灯し、発光準備が完了します。内部に異常があり、充電しないときは10秒後にACランプの点滅と、ブザーの連続音で知らせます。

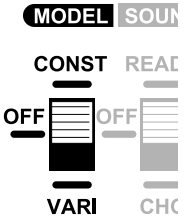


■ 5. テスト発光をしてください。

テスト発光スイッチ(TEST)を軽く押し、正常に発光することを確かめてください。

■ 6.モデリングランプモードを選択してください。

モデリングランプを使用するときはモデリングランプモードスイッチを「CONST」「VARI」のいずれかにセットします。



■ 7. カメラとのシンクロを確認してください。

シンクロコードでカメラと接続し、カメラでの発光テストをします。

【お願い】

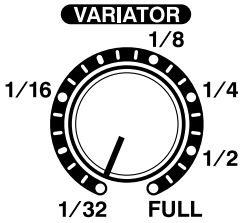
●本番撮影をされる前にフィルムやデジタル画像等でカメラのシンクロ(同調)テストをされるようお奨めします。

●カメラまたはレンズにM/X接点があるときは、必ずX接点を使用してください。

●フォーカルプレーンシャッターのカメラを使用のときは、シャッター速度を1/60秒～1/30秒で使用してください。

5 出力バリエーター

出力バリエーター（VARIATOR）は、ストロボ出力をFULLから1/8までを1/3EVステップ、1/8から1/32までを1/6EVステップで調光します。



■ 出力バリエーター（VARIATOR）を下げたとき

本機は電圧調光方式を採用しています。このため出力を下げても内部のメインコンデンサーに蓄えられている電気エネルギーは、すぐに新たな設定出力値までは下がりません。このときは一度発光させてください。再度充電が完了すると設定した出力値になります。

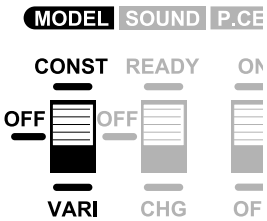
■ 出力バリエーター（VARIATOR）を上げたとき

設定された出力値まで自動的に充電が行われますから、発光操作は必要ありません。
このときフォトセル/充電完了ランプがいったん消灯し、充電が完了すると再び点灯します。

6 モデリングランプモード

■ CONST

出力バリエーターに関係なく、モデリングランプが100%の明るさで点灯します。



■ OFF

モデリングランプを消灯します。

■ VARI

モデリングランプをストロボ出力と連動して調光します。
モデリングランプの明るさは1/3ステップで調光します。

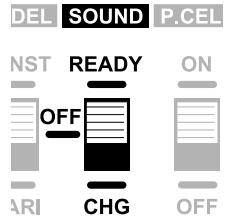
注意

- **モデリングランプは使用電圧100V～120V/200V～240Vで異なります。**
  使用電圧に合った入力定格のモデリングランプをご使用ください。
  100V～120Vの場合は110V200Wハロゲンランプ（E－11スクリュータイプ）
  200V～240Vの場合は220V200Wハロゲンランプ（E－11スクリュータイプ）
- **クーリングファンが何らかの異常で止まったときは、モデリングランプが点灯しません。ストロボは発光しますが連続発光はしないでください。故障の恐れがありますので速やかに使用を中止して、点検・修理を受けてください。**

7 サウンドモード

■ READY

充電が完了したときに、ブザーが鳴ります。



■ OFF

充電状況を確認するためのブザーが鳴りません。

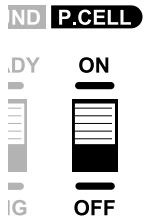
■ CHG

充電中にブザーが鳴り、完了するとブザーが止まります。

- **警報音は、サウンドモードに関係なく鳴ります。**

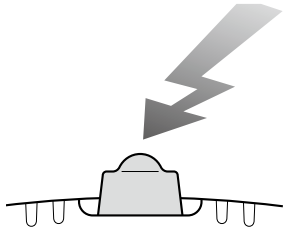
8 フォトセル

他のストロボ光を受けて同調発光をさせるとき「ON」にします。



【お願い】

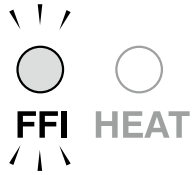
- 赤外シンクロ装置を使うときは必ず「OFF」にしてください。
  また、フォトセル受光部周辺に直射日光など強い光が当たると作動しないことがあります。
- 室内照明に蛍光灯を使用しているときは、フォトセル受光部を 50cm 以上離してセットしてください。シンクロ外発光や他のストロボ光を受けず、不発光になることがあります。
- 同調発光させないときは「OFF」にしてご使用ください。



9 不発光警報

■ 充電完了後の不発光警報

発光操作をしても、何らかの原因で発光しなかったときは、ブザーが鳴り、同時に不発光警報ランプ(FFI) が点滅して不発光を知らせます。
充電完了前に発光操作を行ったときは、発光はせず不発光警報ランプ(FFI) が点滅して、ブザーが鳴ります。



- 警報音は、サウンドモードに関係なく鳴ります。

■ 警報の解除

不発光警報の解除は、充電完了後ふたたび発光操作をして正常に発光すれば自動的に解除されます。
また、メインスイッチ(MAIN) をいったん「OFF」にすることでも解除できます。

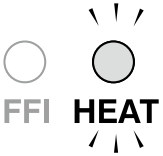
10 充電異常警報

何らかの原因で充電が所定の時間内に完了しなかったときは、ACパイロットランプが点滅しブザーの連続音で知らせます。
このとき、メインスイッチ (MAIN) をいったん「OFF」にし、ヒューズを点検してからメインスイッチ(MAIN) を「ON」にしてください。
再び充電異常警報が発生するようなときは、内部の故障が考えられますので速やかに使用を中止して、点検・修理を受けてください。
なお、点検・修理については「保証とアフターサービス」をお読みください。

- 警報音は、サウンドモードに関係なく鳴ります。

11 過熱警報

長時間の連続発光などにより内部の電子部品が所定の温度以上になったときは、過熱警報ランプ (HEAT) が点滅し、ブザーの連続音で知らせます。
このときは、ただちに使用を中止してください。



- 警報音は、サウンドモードに関係なく鳴ります。

■ 警報の解除と放熱

メインスイッチ (MAIN) をいったん「OFF」にし、ふたたび「ON」にしてください。これで警報音は止まりますが、ヒートランプ (HEAT) は点滅し、まだ過熱状態であることを知らせます。また、モデリングモードスイッチ(MODEL) は「OFF」にします。
冷却を早めるため、このままの状態で発光させずに放熱します。電源内部の温度が所定の温度以下になるとヒートランプ (HEAT) が消灯し使用できる状態に戻りますが、完全に温度が下がったわけではありませんので、連続発光は避けてください。

- 冷却を早めるために、風通しの良いところに置いてください。クーラー、扇風機による冷却は特に効果的です。

12 モデリングランプの交換

モデリングランプはスクリュータイプのハロゲンランプを使用します。
外すときは反時計方向、取り付けるときは差し込んで時計方向に回してください。

モデリングランプは使用電圧によって異なります。
必ず使用電圧に合った定格のモデリングランプと交換してください。

使用電圧	モデリングランプの種類
100V～120V	110V−200W
200V～240V	220V−200W

注意

- 使用している電源部のメインスイッチ（MAIN）を「OFF」にし、必ずACコードのプラグをコンセントから抜いてください。
- 消灯直後は非常に高温です。十分温度が下がってから取り扱ってください。火傷の恐れがあります。

13 ヒューズ定格とヒューズの交換

■ 使用電圧によるヒューズ定格の違い

それぞれの機種、使用電圧によりヒューズ定格が異なりますので交換の際は必ず表に表示されている定格のものを使用してください。

■ 100 V～120 Vで使用するとき

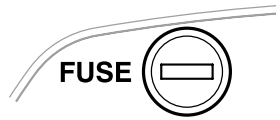
CT-02WⅡ	CT-04WⅡ	CT-06WⅡ
7A	7A	12A

■ 200 V～240 Vで使用するとき

CT-02WⅡ	CT-04WⅡ	CT-06WⅡ
5A	5A	7A

■ ヒューズの交換

ヒューズホルダーの蓋を⊖ドライバーで押しながら反時計方向に回して外し、断線したヒューズを取り出します。切れたヒューズと同じ定格のものと交換してください。



注意

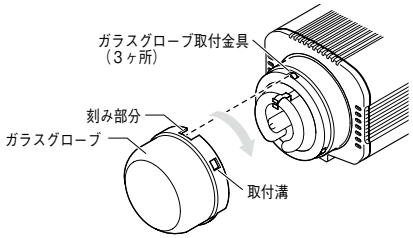
- 本機を海外でご使用になる場合、ご使用になる場所がAC100V地域からAC200V地域に、またAC200V地域からAC100V地域に変わったときは、表にしたがってヒューズを交換してください。
- ヒューズ交換は、メインスイッチ（MAIN）を「OFF」にし、必ずACコードのプラグをコンセントから抜いて行ってください。
- ヒューズは必ず表示されている定格のものを使用してください。定格以外の使用は発火や火災の原因となります。

14 ガラスグローブの着脱

別売のガラスグローブを取り付ける、または取り外しをするときは次の手順で行ってください。

■ 取り付けるとき

本体3ヶ所のガラスグローブ取付金具にガラスグローブの刻み部分を合わせます。次にガラスグローブを時計回りに回転し、本体のガラスグローブ取付金具とガラスグローブのガラスグローブ取付溝を合わせ取付を完了します。



■ 取り外すとき

ガラスグローブを時計回りに回転し、本体のガラスグローブ取付金具とガラスグローブ刻み部分を合わせ、手前に引き抜きます。

【お願い】

- **ガラスグローブの取り付け、取り外しのときはキセノンランプ、モデリングランプを破損しないよう注意をして行ってください。**

15 保証とアフターサービス

■保証書と保証期間

添付された保証書に「販売店名・ご購入日」など、所定事項の記載もれがないかをご確認のうえ大切に保存してください。なお、保証期間はご購入日から一年間です。

本製品に、純正部品・純正アクセサリー以外のものを使用することによって生じた故障・事故、および本取扱説明書で明記した注意・禁止された事項をお守りにならずに生じた故障・事故については一切の責任を負いかねます。

また、消耗品類は保証の対象となりません。詳しくは保証書の保証規定をご参照ください。

■保証期間終了後の修理

保証期間後でもご要望により有償で修理いたします。引き続き安心してご使用いただけます。

■アフターサービス

すべてのコメット製品は、厳重に調整・検査して出荷されていますが、万一故障になったときはご購入店または弊社営業所へご連絡ください。

■修理・点検へお出しになる際のご注意

修理・点検にお出しになる際は、ご使用中のACコード、シンクロコードをセットにしてご依頼ください。迅速なアフターサービスをさせていただきます。

保証期間中のものは必ず保証書を添付してください。保証期間後のものは保証書に記載されている製品名・型式・ご購入年月日をお知らせください。

また、修理にお出しになる前にACプラグが抜けてないか、ヒューズ、ブレーカーが切れていないかをお調べください。

■修理・点検後のご注意

修理伝票は修理完了品に添付してあります。

修理内容が明記されておりますので、修理品をお受け取りになる際に確認してください。

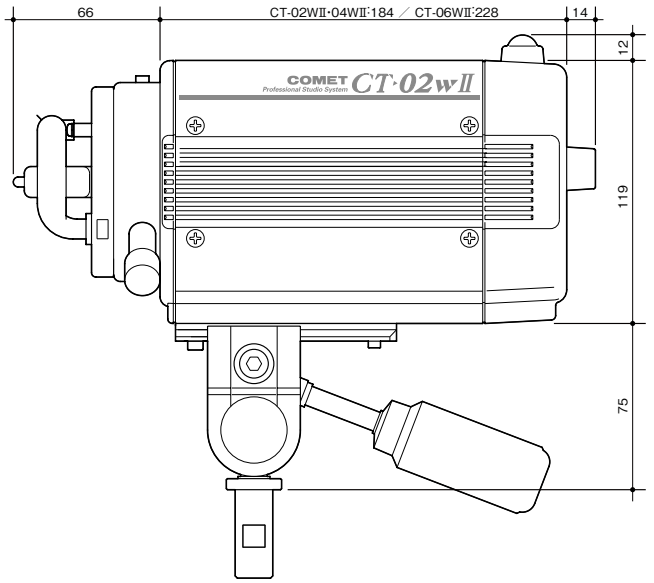
また、修理伝票は次回の修理に必要となることがありますので大切に保存してください。

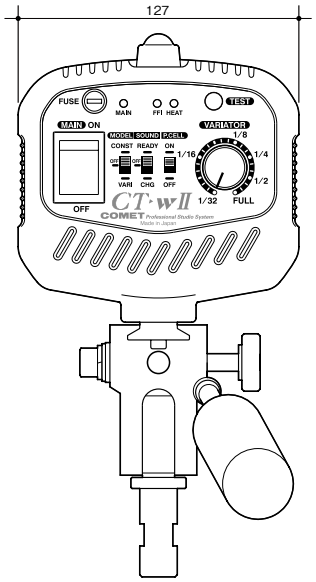
16 仕様

品　名	CT−02WⅡ	CT−04WⅡ	CT−06WⅡ
型　式	CT-02WⅡ	CT-04WⅡ	CT-06WⅡ
定格電圧	AC 110V ±10%　50/60Hz		
	AC 220V ±10%（自動切替）50/60Hz		
ヒューズ定格 110V	7 A	7 A	12 A
ヒューズ定格 220V	5 A	5 A	7 A
最大出力	200Ws	400Ws	600Ws
出力調光範囲	FULL〜1/8（1/3EV ステップ）1/8〜1/32（1/6EV ステップ）		
ストロボ調光方式	電圧調光		
出力表示	調光バリエーター目盛		
キセノンランプ	ハードグラス（最大 600Ws）		
充電時間 120V	1.0 秒	1.6 秒	1.6 秒
充電時間 220V	1.0 秒	1.6 秒	1.6 秒
モデリングランプ定格 100V 地域	110V 200W ハロゲンランプ		
モデリングランプ定格 200V 地域	220V 200W ハロゲンランプ		
モデリング調光モード	連動調光（VARI）／コンスタント（CONST）／消灯（OFF）		
レディーランプ	内蔵（充電完了と同時に点灯）		
シンクロソケット	ホーンジャック 2個		
シンクロ電圧	DC 12V		
フォトセル	内蔵（スイッチ付）		
サウンドモード	充電中音／充電完了音／OFF		
不発光警報	FFI ランプ点滅とブザー連続音		
過熱警報	HEAT ランプ点滅とブザー連続音		
充電異常警報	メインランプ点滅とブザー連続音		
クーリングファン	内蔵		
適合リフレクター	CXタイプ		
閃光時間	1/2000sec	1/1200sec	1/1100sec
寸　法	127（w）x 119（h）x184（ι）mm		127（w）x 119（h）x228（ι）mm
重　量	2.3kg	2.5kg	2.6kg

寸法はキセノンランプ、リフレクター、雲台等の突起物は含みません。
重量はガラスグローブ、リフレクターは含みません。

外観寸法





単位 mm

● 本仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
なお、この仕様は2011年7月現在のものです。

MEMO

MEMO